

2013年6月7日 265号

共同センターNEWS

憲法改悪反対共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法署名 528,872 人分提出

6・5署名提出院内集会&議員要請

1か月で278,928人分集約

憲法改悪反対共同センターは、「96条改悪ストップ！世界の宝9条を守り生かそう！6・5署名提出院内集会&議員要請」を、6月5日衆院第一議員会館で開催しました。集会には北海道、大阪など各地・団体から120人が参加しました。集会に向けて署名が持ち見込まれ、今国会への提出は、4月24日提出の249,944人と合わせ累計で528,872人に達しました。その後1か月強で集約された署名数は、278,928人分となります。これは全国各地での奮闘の成果であり、「憲法改悪を許すな」の運動が広がっていることを示しています。署名は、国会情勢報告をしてくださった日本共産党の笠井亮議員に提出しました。

集会終了後、議員要請、有楽町マリオン前での宣伝行動も行いました。



「憲法の意義を国民に知らせる絶好の機会」 小澤隆一氏

集会では、大黒作治全労連議長が「安倍首相の96条を変えようとする策動に批判が高まっている。憲法改悪阻止のたたかいを強めよう」と開会あいさつ。次に、笠井亮議員が衆院の憲法審査会の状況も含め、国会でも96条改悪に反対する声がかかっていると報告しました。

その後、東京慈恵会医科大学の小澤隆一教授（憲法学）が、『96条改悪を止め、憲法を活かしてまもろう』のテーマで、「改憲派は近代立憲主義の否定という『禁断の実』」に手をつけた。憲法の意義を国民に知らせる絶好の機会であり、それは私たちがとりくまなければならない課題だ」と語り、さらに「自民党改憲案は復古主義・反動的な国家をめざすものだ」と、具体的な改憲条文を示し、詳細に説明しました。そして、憲法を学習する重要性を語り、勤通大の憲法コースを紹介しました。

豊かなとりくみ報告 各地から

その後、参加者の交流では、参加団体や各地方から憲法改悪阻止にむけたとりくみが報告されました。この紙面では、3人の発言の紹介と民青同盟・田中悠委員長の発言の一部を紹介します。後の方の発言は、次号で紹介し

ます。
自由法曹団の篠原義仁団長は、安倍政権は憲法改悪に執念を燃やし、①集団的自衛権の行使をもくろむ解釈改憲、②安全保障基本法制定による立法改悪、③明文改憲、この3つの手口ですすめようとしている。9条改憲のための96条改悪の「裏口入学」は断じて認めるわけにはいかない。自由法曹団は憲法学習会の無料講師派遣を行っているが、ここ2〜3月の講師依頼は昨年と比較すると3倍増である。宣伝、学習、デモ等をより一層大きく組織して、9条や憲法全体の改悪をならんでの実態を訴え抜き、自由法曹団も奮闘していくと決意を述べました。

日本医労連の木口栄書記次長は、10年ぶりに「憲法平和闘争交流会」を開催したことや、23回目の沖縄平和ツアーを実施したことなどを紹介し、そして、改憲によって国内外での戦争に医療従事者として赴かなければならなくなる、「白衣を再び戦争の血で汚さない」と、9条改悪阻止にむけたたたかいの決意を語りました。

東京革新懇の今井文夫事務局長は、憲法学習と宣伝の強化を呼びかけている。学習では講師謝礼1万円補助を打ち出して推進し、1月以降28の革新懇が36回の憲法にかかわる講演会・学習会を開催している。宣伝では3月足立、4月世田谷、5月三多摩、6月練馬と地域革新懇と東京革新懇が共同で宣伝行動を展開。5月11日立川では、雨の中の宣伝となったが、9人が参加し1時間で150人の署名を集めている。安倍政権が参院選後に改憲で暴

走する危険を直視しなければならない。当面する都議選、参院選で改憲勢力に打撃を与え、憲法闘争を一段と強める決意を語りました。

「憲法を学び、職場・地域の仲間と憲法を語ろう」と行動提起

次に、行動提起を共同センター運営委員の高橋信一全労連副議長が行いました。①職場・地域で、共同センター発行のリーフ等を活用し、憲法学習を進めよう。②職場・地域の仲間と憲法を語り、地域での「9 の日宣伝」等をすすめよう。③憲法改悪反対の署名にとりくもう。④地元で、国会議員への要請にとりくもう。本日の議員要請にもご参加を、と4点提起しました。

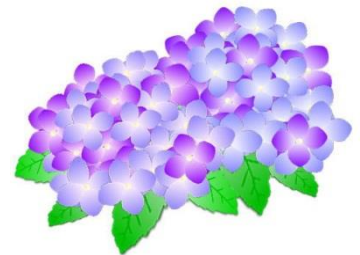
終わりに、国分稔全商連会長が、戦後に「憲法のはなし」という教科書を読みあわせしたご自身の経験と憲法を守ることの重要性を語り、運動を広げようと訴えました。

田中悠民青同盟委員長の発言（要旨）

○いま各地でまず憲法を学ぶところからと運動がはじまっている。高知では6月2日、高校生の仲間がプリンを食べながら、「新しい憲法の話」を読んで学習しました。食べられる幸せをかみしめたと思います。京都では、高校生たちがピースキャンドルをしました。自民党の改憲案を学んだ高校生たちが、「自民党は本気で憲法を変えようとしている」「もし戦争になってしまったら自分の好きな人も戦場に行くことになる、絶対いやだ」と、学校のクラスで、500人から紙コップに平和をねがうメッセージを書いてもらい、平和の灯をともし、三条の河川敷で大注目をあびました。

○中央では青学連という青年団体のネットワークで、「9条、いいね！キャンペーン」をはじめました。フェイスブックのページにQちゃんが登場し、憲法の大切さを発信しています。かなりの反響があり、書き込まれるメッセージが熱い。「世界中の国が憲法9条をもったら、戦争がなくなる。そんな世界の灯台の灯を消してはならない」「この素晴らしいページを作ってくれてありがとう」「ぜひQちゃんのTシャツも作ってください」と、次々と声が寄せられ、開始して2か月あまりですが、ページへの賛同を示す「いいね！」は1350人を超えました。「おかしくない？権力による権力のための96条改正」という投稿をアップした時には、500人がこの投稿をシェアし、23000人に投稿が知らされました。ここに、憲法を変えさせてはいけないという青年の深いエネルギーが示されています。

○私たち民青は共青として誕生してから90年を迎えました。(途中 略)90年の歴史は、紛争を話し合いで解決する方向にこそ世界が進むべき道があることを教えています。そして戦前、逮捕・投獄されながら信念を貫いた先輩たちのたたかいは、人間の命を守ろうという真理と正義は必ず、多数派になることを示し、それは今の日本国憲法にきざまれています。歴史の逆行を決して許すわけにはいきません。青年もがんばります。



「院内集会&議員要請」終了後、有楽町マリオン前で宣伝。10団体、21人参加。チラシ400枚、署名13人。

6・5憲法署名提出数

団体名	署名数	団体名	署名数
青梅九条の会	1,853	国公労連	14,671
大阪憲法会議	28,576	全教	14,013
憲法改悪反対 愛知共同センター	15,565	埼労連	127
埼玉憲法会議	2,150	埼玉土建	33,134
新婦人	113,600	東京土建	1,392
全商連	1,000	全労連・憲法改悪 反対共同センター	27,488
全国革新懇	3,749	小計	278,928
自治労連	8,866	4・24提出数	249,944
生協労連	12,094	今国会提出数	528,872
年金者組合	650		

「6・5署名提出院内集会」の様子は、IWJ・ホームページ(チャンネル6)より動画で見ることができます。
<http://iwj.co.jp/channels/main/channel.php?CN=6> 右側の「過去のライブ」→「130605 96条改悪ストップ！世界の宝9条を守り生かそう！」をクリック

憲法を学び、生かし、平和な日本と世界を！